

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事例概要について】

| | |
|-----------------|---|
| 1. 事故・ヒヤリハットの別 | 事故事例 |
| 2. 体験した事例の名称 | 救急車内からの転落負傷事例 |
| 3. 体験した事例の中心的要素 | 傷病者を収容し、病院へ搬送。救疾室入り口に到着。後部ドアが開いたので、傷病者を観察しながらストレッチャーの頭部側を確保し、搬出中、ストレッチャーが急に下がり、その反動で車内から転落した。 |
| 4. 体験した事例の原因・理由 | 隊員間の連携ミス・注意力不足 |

【体験した事例の直接的原因について】

| | |
|------------------|-----------------|
| 1. 体験した事例の直接的な原因 | 行動の意志決定に問題があった。 |
|------------------|-----------------|

【体験した事例について】

| | |
|----------------------------------|--------------------------|
| 1. 発生日時 | 平成 16 年 7 月 30 日 午前 5 時頃 |
| 2. 発生した当時の天候 | 晴 |
| 3. 発生した活動現場 | 屋外：病院の救患室入り口 |
| 4. 体験した事例の種類 | 回答者が、自分自身で負傷した。 |
| 5. 事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度） | 軽傷の怪我 |
| 6. どのようなことが起きたのか (起きそうになったのか) | 墜落・転落、 |
| 7. 事例体験時の活動 | 救急、 [その他 : 病院到着時] |
| 8. (7の活動中) どのような作業中に発生したか | 病院へ引継、搬送法、 |
| 9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。 | 初めて体験した。 |

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

| | |
|----------------------|--|
| ○当事者 A | 年齢[29]歳、 勤続年数[6]年、 現場経験年数[1] 年、 階級[消防副士長]、 同様の活動 [頻繁]、 任務 [隊員] |
| ○当事者 B | 年齢[]歳、 勤続年数[]年、 現場経験年数[]年、 階級[]、 同様の活動 []、 任務 [] |
| ○当事者 C | 年齢[]歳、 勤続年数[]年、 現場経験年数[]年、 階級[]、 同様の活動 []、 任務 [] |
| その他 (当事者が4人以上の場合) | |

11. 事例発生の経過。

| | 誰(何)が | なにをした | その他・備考など |
|-------|-------|--|----------|
| 経過 1 | 当事者A | 傷病者を収容し、病院へ搬送。傷病者を車内より搬出 作業中、車内から転落した | |
| 経過 2 | | | |
| 経過 3 | | | |
| 経過 4 | | | |
| 経過 5 | | | |
| 経過 6 | | | |
| 経過 7 | | | |
| 経過 8 | | | |
| 経過 9 | | | |
| 経過 10 | | | |

【その事例発生時の状況について】

A horizontal line consisting of 20 solid black circular dots, evenly spaced from left to right.

○事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思うか?

ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

集中力、注意力がなかった。避難・退避がうまくいかなかった。他隊(員)との連携活動がうまくいかなかった。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

- ・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。 いいえ
 - ・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。 いいえ
 - ・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。 いいえ

b. 注意力が欠如していた

- ・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。 いいえ
 - ・活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。 いいえ
 - ・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。 はい

c. 経験・知識が不足していた。

| | |
|----------------------------|-----|
| ・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。 | いいえ |
| ・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。 | いいえ |
| ・活動に対する経験が不足していた。 | いいえ |

d. 心身の不調があった

| | |
|-----------|-----|
| ・体調が悪かった。 | はい |
| ・悩み事があった。 | いいえ |

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

| | |
|---------------------|-----|
| ・装備・資機材自体に問題があった。 | いいえ |
| ・装備・資機材の使用方法が誤っていた。 | いいえ |
| ・装備・資機材の対処能力を超えていた。 | いいえ |
| ・必要とする装備・資機材がなかった。 | いいえ |

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

| | |
|---------------------------------|-----|
| ・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。 | いいえ |
| ・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。 | いいえ |

g. 行動しにくい環境だった。

| | |
|------------------|-----|
| ・狭隘な場所であった。 | いいえ |
| ・暑かった（寒かった）。 | いいえ |
| ・野次馬が多かった。 | いいえ |
| ・現場周辺の地理に不案内だった。 | いいえ |

h. 足場が悪かった。

| | |
|-------------------|-----|
| ・足元が躊躇したり滑りやすかった。 | いいえ |
| ・足元の強度が不足していた。 | いいえ |

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

| | |
|-------------------------------------|-----|
| ・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。） | いいえ |
| ・指示内容に誤り・偏りがあった。 | いいえ |
| ・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。） | いいえ |

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

| | |
|----------------|-----|
| ・隊員の連携が不十分だった。 | はい |
| ・隊員が不足していた。 | いいえ |

○その他

l. その他の理由があった。

| |
|-----|
| いいえ |
|-----|

【事故発生後の取り組みについて】

・・・・・・・・・・・・・・・・

○注意力欠如、焦り等の対策について

どのような事案であっても、細心の注意を払い、安全管理を確実に行い活動しようと思いました。

○装備・資機材の対策について

○活動環境の対策について

○指揮・情報伝達の対策について